

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年						平成30年														
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~2日	12月 ~9日	12月 ~16日	12月 ~23日
カンピロバクター	142	87	98	161	109	84	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	32	21	16 (17)	18
病原性大腸菌	206	161	102	112	73	110	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	33	32	31 (33)	24
腸管出血性大腸菌	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
サルモネラ	18	29	9	12	16	3	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	2	1	4	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	17	24	24	9	12	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	4	3	5	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	27	16	22	19	15	16	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	4	6	4	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
その他	9	11	5	14	3	1	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	1	1	1	0
ロタウイルス	1	1	0	0	0	0	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
アデノウイルス	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
ノロウイルス	8	2	1	3	7	21	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	2	4	9	3

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第51週(12月17日~12月23日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	1				5		
三類	0	発生なし	0							
四類	6	レジオネラ症	6		1			4		1
五類全数	6	ウイルス性肝炎(E型, A型除く)	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2						2	
		梅毒	2					1		1
		百日咳	1					1		

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第51週 12/17~12/23)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

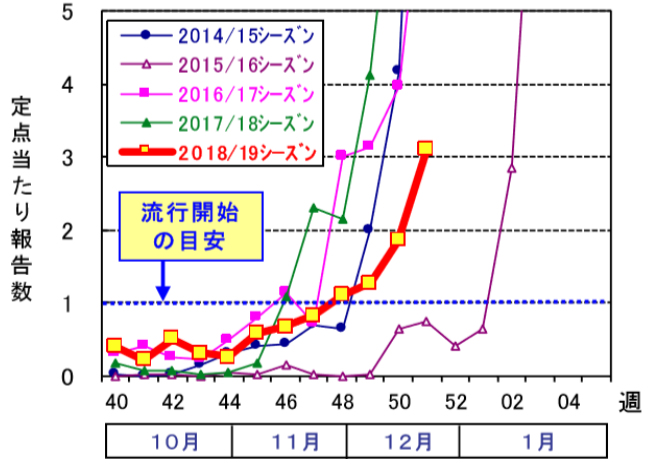
定点当たり3.11人と、前週の約1.7倍に増加しました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も2件報告されています。

インフルエンザは、流行が始まると、短期間に感染が拡大するため、注意が必要です。ワクチン接種、手洗いや咳エチケットなどインフルエンザ対策を徹底しましょう。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり12.7人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。報告数が多くなっていますので、流水・石けんによる手洗いを励行し、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	115	3.11	8.02	急増	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.72	横ばい
	咽頭結膜熱	8	0.33	0.54	横ばい		RSウイルス感染症	12	0.50	0.90	横ばい
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	85	3.54	3.06	横ばい	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	横ばい
	感染性胃腸炎	304	12.67	11.76	横ばい		流行性角結膜炎	7	0.88	0.85	横ばい
	水痘	15	0.63	0.86	急増	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	横ばい
	手足口病	7	0.29	0.62	横ばい		無菌性髄膜炎	-	-	0.09	横ばい
	伝染性紅斑	3	0.13	0.29	横ばい		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	横ばい
	突発性発しん	8	0.33	0.44	横ばい		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	横ばい
ヘルパンギーナ	4	0.17	0.05	横ばい	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	-	横ばい		

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	136	女性(20歳代)・推定感染地域: 国外・1人、男性(30歳代)・1人、男性(80歳代)・3人
4	レジオネラ症	4	39	男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・2人
5	ウイルス性肝炎	1	6	男性(30歳代)・B型
5	梅毒	1	105	女性(40歳代)
5	百日咳	1	61	女性(40歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.2) 鼻炎	4	女	2018/11/17	鼻汁	ライノウイルス
インフルエンザ	発熱(39.0) 咽頭炎 鼻炎	14	男	2018/11/19	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0) 上気道炎	10	女	2018/11/19	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の消化器疾患	血便 嘔吐	1	男	2018/08/27	糞便	アデノウイルス2型 エコーウイルス11型
その他の疾患	発熱(38.0)	4	男	2018/11/01	咽頭拭い液	ライノウイルス エンテロウイルス68型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載